

◆ 最上地域の医療に携わっている医師からのメッセージ

山形県立新庄病院

院長 八戸 茂美

山形県の北部に位置する最上2次保健医療圏唯一の中核病院です。救急告示病院として地域のほとんどの救急患者が搬送される中、へき地拠点病院として最上地域の町立病院や診療所と連携して地域医療を支えています。一方、山形大学や東北大学等、東北地域の大学医学部との交流も活発です。

当院は全面移転新築が決定され、平成29年度に基本計画が策定されました。新病院に向けて、地域の基幹病院として一層機能の充実を図り、住民から信頼される医療を提供できるように、職員一丸となって取り組んでいます。

幅広く様々な症例を経験でき、各診療科や地域の医療機関との連携も強く、研修環境としても抜群です。

自然豊かな最上の地でぜひ一緒に勉強しましょう。



最上町立最上病院

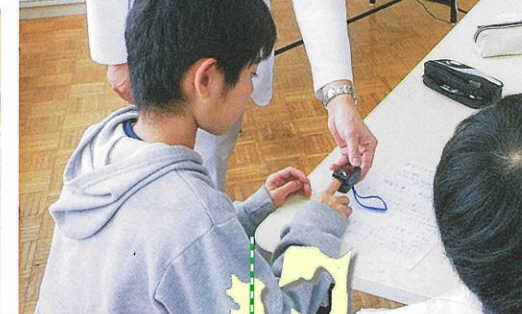
内科医 矢萩 舜

最上地域は人口あたりの医師数が山形県内でもっとも少ない地域です。そのため我々のような町立病院で働く医師はいわゆる「何でも内科」です。私の専門は消化器ですが、心臓も診るし、呼吸器も診ます。子どもも診ますし、簡単な外傷も自分で診ます。また終末期のお看取りや、訪問診療、健康診断、隣接の特養や老健の回診、介護サービスの相談など業務内容は多岐に渡ります。

最初は私も不安でしたが、周囲のサポートもあり何とか地域の内科医として働いています。

休日は近所の山で山菜を採ったり、川で魚を釣ったり、ウインタースポーツを楽しんだり、田舎ならではの生活を楽しんでいます。

ここ最上の地で一緒に楽しみながら地域医療をやりませんか。



◆ 最上地域で行われている医療への取り組み

- 新庄市が設置し、地元医師会に委託して365日診療を行う夜間休日診療所を平成19年3月に開設しました。
- 最上地域の医療に触れ、将来の就業を考えるきっかけとなるように医学生を対象とした地域医療実習事業を実施しています。
- 最上地域保健医療対策協議会※1を中心として、地域一体となった「救急医療体制の整備」、「医師等医療従事者確保対策」等、地域の保健医療の充実に向けた事業を実施しています。
- 最上地域では、基幹型臨床研修病院として県立新庄病院と新庄徳洲会病院が指定を受けており、研修医に対しては少人数受入れの利点を活かしたきめの細かい研修・指導を行っています。
- 災害拠点病院である県立新庄病院は、平成22年3月に山形DMAT病院の指定を受け、平成23年3月の東日本大震災や平成28年4月の熊本地震の際には、発災後直ちにDMATを派遣し、被災地の支援を行いました。
- 平成23年2月3日に、保育園保護者や母親グループ、地域づくり団体等の住民による「私たちとお医者さんを守る最上の会」が結成されました。病院での時間外受診適正化を促す活動を行い、最上地域の勤務医の負担軽減と医師定着を目指しております。

※1 最上地域保健医療対策協議会とは、最上地域の保健医療に関して総合的・効果的な対策を推進するため、行政(県、市町村、警察、消防)、医療関係者、住民(学識者、議会)で構成する最上地域独自の団体で、安心な暮らしを支える地域医療の充実に向けて、地域一丸となって取り組んでいます。

◆ 山形県医師修学資金貸与制度について

山形県では、県内の医療機関に勤務する医師の確保を目的として、「山形県医師修学資金貸与制度」を設けています。大学において医学を履修する課程に在学する方で、卒業後直ちに県内の公立病院等に勤務いただける方に対し、その修学に必要な資金(修学資金)を貸与しています。大学卒業後、県内の公立病院等に修学資金の貸与を受けた期間の1.5倍(その期間が7年に満たない場合は7年)に相当する期間を勤務していただくなどの一定の条件を満たせば、修学資金を返還する必要がなくなります。

詳しくは山形県のホームページ等をご覧ください。

もがみの医療

山形県最上地域で医療に携わっていただける方をお待ちしています

ごあいさつ

最上地域は、山形県北東の内陸部に位置し、1市4町3村からなる地域です。当地域は、人口が約75,000人と二次保健医療圏としては県内で最も少ないですが、75歳以上人口の割合は県内で最も高く、高齢化の進んだ地域となっています。

また、当地域の人口10万人あたりの医師数は137.5人で、全国(251.7人)や山形県全体(233.3人)と比べても低い水準となっています。

こうした医療環境の中で、当地域で唯一の基幹病院である山形県立新庄病院は、全面移転新築の方針が決まり、平成29年度は、新病院の具体的な診療機能や部門配置、整備スケジュール等について整理し、新病院の設計・工事など今後の改築整備を進めていくうえでの根幹となる改築整備基本計画が策定されました。

地域住民がいきいきと暮らせる地域づくりのためには、地域医療の充実・強化が欠かせませんが、そのためには、医師をはじめとする多くの医療従事者が地域医療に携わっていただくことが必要です。

最上地域ではみなさんのような新しい力を必要としています。私たちとともに地域医療の担い手となっていただける方を心からお待ちしております。

最上地域保健医療対策協議会 会長 三條 典 男

山形県最上地域のご紹介

山形県最上地域は、山形県と秋田県を結ぶ南北軸と日本海側の庄内地域と太平洋側の仙台市を結ぶ東西軸が交差しているほか、山形新幹線により首都圏へのアクセスも充実した交通の要衝となっている地域です。

四方を鳥海山や月山、神室連峰など高く険しい山々に囲まれ深い原生林が多く残り、全国でも有数の「巨木の里」として知られています。

平成4年に舟形町の西ノ前遺跡より出土した土偶「縄文の女神」が、平成24年に国宝に指定されたほか、平成28年にユネスコ無形文化遺産に登録された新庄まつり(毎年8月24日から26日に開催)は、近年は50万人を超える人出があり、遠方からも多くの観光客を集めています。

開湯1,200年を誇る肘折(ひじおり)温泉をはじめ、赤倉(あかくら)・瀬見(せみ)の温泉地も日本の原風景を偲ばせる昔ながらの温泉として多くの人を魅了しています。



山形県最上地域へのアクセス

- 東京から山形新幹線で3時間15分
- 仙台から在来線JR山形線山形駅まで68分
- 山形駅から山形新幹線43分
- 自動車で120分

発行 最上地域保健医療対策協議会

事務局

〒996-8501 新庄市沖の町10-37 新庄市健康課母子保健推進室
TEL 0233-22-2111 (内514) FAX 0233-23-2469 E-Mail kenkou@city.shinjo.yamagata.jp
〒996-0002 新庄市金沢字大道上2034 山形県最上総合支庁(最上保健所)保健企画課
TEL 0233-29-1256 FAX 0233-22-2025 E-Mail ymogamihoken@pref.yamagata.jp

詳しくは、「山形県最上地域医療情報ポータルサイト」ホームページをご覧ください。
URL <http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshicho/mogami/314023/iryoujyouhou.html>



肘折温泉朝市●大蔵村

最上地域の病院・公立診療所

① 町立真室川病院

住所/真室川町大字新町469-1
電話/0233-62-2211



- 診療科/内・整・耳
- 病床数/一般55
- 常勤医師数/4名

施設からのPR

平成14年10月に包括的な保健・医療・福祉システムの確立を目指して「ヘルスケアセンターまむろ川」を整備しました。当病院

はその中核を担い、いつでも安心して医療が受けられるよう医療体制やCT・MRI等医療機器の整備を図っています。

また、地域住民の健康保持、福祉向上のために保健・福祉・介護部門が併設されていることから、地域包括医療・ケアを積極的に推進し事業を展開しています。

さらに、医師の臨床研修については、山形大学医学部附属病院及び山形県立新庄病院の協力施設と位置づけられており、地域医療の充実した病院として大変好評を得ています。

- http://www.town.mamurogawa.yamagata.jp
- E-mail/byouin@town.mamurogawa.yamagata.jp

④ 町立金山診療所

住所/金山町大字金山548-2
電話/0233-52-2915



- 診療科/内・外・小
- 病床数/一般19
- 常勤医師数/2名

施設からのPR

当診療所は19床の病床を有する、町内唯一の入院機能を持つ医療機関です。健康長寿の町を目指して、健康・福祉・医療

が一体となって町民に対する医療の提供及び健康増進に取り組んでおります。リハビリ室のほか臨床検査、CT(16列)装置、骨密度測定装置、内視鏡など検査機能も充実し、協会健保及び国保等の特定健診を始めとする健康診断や日帰り及び一泊の人間ドック検診にも対応しております。また、毎週水曜日(第1~第4)は午後7時までの延長診療、毎週月曜日は、疼痛外来診療を行っております。

- http://www.town.kaneyama.yamagata.jp/shinryojo/
- E-mail/byouin@town.kaneyama.yamagata.jp

⑤ 戸沢村中央診療所

住所/戸沢村大字古口2664-5
電話/0233-72-3363
FAX/0233-72-3763



- 診療科/内
- 常勤医師数/1名

施設からのPR

戸沢村は、人口が4,700人余りです。松尾芭蕉の句にある「五月雨をあつめて早し最上川」が村の中央を流れており、「最上川舟下り」は、四季をとわず楽しめます。他に1千

年以上の杉が群生している「幻想の森」や「草薙温泉」「ぼんぼ館」「高麗館」などがあります。診療所は平成元年4月に開設されて以来、30年目を迎えます。現在では村唯一の医療機関となっていますが、住民の治療予防、健康維持のため日々診療を続けてまいります。

- http://www.vill.tozawa.yamagata.jp
- E-mail/shinryojo@vill.tozawa.yamagata.jp

⑥ 大蔵村診療所

住所/大蔵村大字清水2325-3
電話/0233-75-2355



- 診療科/内・外・歯
- 常勤医師数/3名

施設からのPR

大蔵村は、人口が3,300人余りと県内で最も小さい自治体ですが、「日本で最も美しい村連合」に加盟している自然豊かな美しい村です。

診療所は、村内唯一の医療機関で現在3名の医師・歯科医師で内科・外科・歯科の診療を行っています。現在、介護施設や訪問看護・介護ステーション、包括支援センターとも連携し、在宅療養支援に力を注いでおり、寝たきりや終末期の患者さんの訪問診療、看取りそして家族の支援を積極的に行っています。

- E-mail/ohkurashin@bz04.plala.or.jp

② 真室川町立及位診療所

住所/真室川町大字及位424-19
電話/0233-66-2112

- 診療科/内
- 診療日/第1・3・5月曜日の午後 第2・4月曜日の午前

③ 真室川町立釜淵診療所

住所/真室川町大字釜淵818-1
電話/0233-65-2235

- 診療科/内・整
- 診療日/水曜日の午後・木曜日

最上地域の医療機関数

(平成29年12月31日現在)

- 病院数/5

- 診療所数/54

- 内訳：一般診療所/35
社会福祉事業施設内診療所・検診センター・保健所等/19

- 診療科別施設数(上記「一般診療所」35施設のうち)

診療科	施設数	診療科	施設数	診療科	施設数	診療科	施設数
内科	26	整形外科	8	耳鼻咽喉科	2	心療内科	1
呼吸器科	1	形成外科	7	皮膚科	3	アレルギー科	1
循環器内科 (循環器科含む)	4	泌尿器科	1	泌尿器科	3	リウマチ科	2
小児科	13	肛門外科 (こ肛門科含む)	2	産婦人科	1	リハビリテーション科	2
消化器内科 (胃腸科含む)	7	眼科	2	婦人科	1	糖尿病内科	1
						内分泌科	1

- 歯科診療所数/29



⑦ 最上町立最上病院

住所/最上町大字向町64-3
電話/0233-43-2112



- 診療科/内・外・整・婦・眼
- 病床数/一般60
- 常勤医師数/4名

施設からのPR

当病院は、「ウェルネスタウン構想(町民の健康な体・健康な心・健康な社会生活をサポートする総合施設として全国的にも先進的発想となる理念)」に基づいて整備された施設の中核を担っており、医療・保健・福祉が一体となった地域包括ケアを強力に推進していきます。

また、山形大学及び県立新庄病院の初期臨床研修協力病院として「地域医療」のプログラムで研修医を受け入れて、きめ細やかな指導を行っております。

- http://mogami-hp.com/
- E-mail/hospital@mogami.tv

⑧ 山形県立新庄病院

住所/新庄市若葉町12-55
電話/0233-22-5525



- 診療科/内・神内・消内・循内・小・外・乳外・整・形・脳外・皮・泌・産婦・眼・耳・放・麻
- 病床数/一般452・感染2
- 常勤医師数/45名

施設からのPR

昭和27年の設立以来、「仁・愛・和」を基本理念とする病院憲章の下、高度化、多様化する地域の医療需要に応え、一次から三次医療まで、地域の様々な症例に対応した医療を提供しています。

また、基幹型臨床研修病院として、少人数受け入れ(4人/年)の利点を活かし、研修医に対してきめ細かな研修・指導を行っています。

- http://www.ysh.pref.yamagata.jp
- E-mail/yshinbyo@pref.yamagata.jp

⑨ 新庄徳洲会病院

住所/新庄市鳥越崎場4623
電話/0233-23-3434



- 診療科/内・外・腎内・整・循・脳・泌・耳・歯科口腔外科・人工透析科
- 病床数/一般178・療養48
- 常勤医師数/6名(常勤換算数)

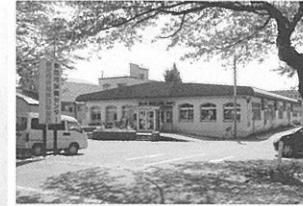
施設からのPR

平成10年に開設した当院は、現在ケアミックス病院として県立新庄病院と連携を図り地域医療を進めています。民間という機動力を生かし、常に何が地域に必要か、何を必要としている方が多いか、医療のニーズに合わせ現在に至りました。中心となる部分は、急性期から回復期、そして在宅への切れ目のない提供を心掛けています。まず、リハビリテーションの充実に力を入れています。理学・作業・言語合わせて30名以上のセラピストを有し、可能な限り自立できる在宅復帰の後に力を入れています。更に、居宅支援事業と訪問看護ステーションを併設している為、入院時点から退院支援を積極的に進める事ができます。医療を進める上で、高齢者医療の需要はますます増える状況の為、医療・介護・福祉を一連の流れを知る良い機会が生まれる事でしょう。また、人事交流が盛んにおこなわれます。後期研修連携施設として外科・内科・総合診療科を組んでいることにより、グループ内外より研修医及び専攻医が研修に訪れ交流を図ることが可能です。

- http://www.shin-toku.com/
- E-mail/kenshu@shin-toku.com

⑩ 新庄市夜間休日診療所

住所/新庄市堀端町3-33
電話/0233-29-6300



- 診療科/内・小
- 受付時間/夜間(月曜~土曜日)18:30~21:00 休日(日曜・祝日・12/31~1/3)8:30~11:30 13:00~16:30

施設からのPR

当診療所は、夜間・休日診療の定着化と、時間外休日診療体制の充実を図ることを目的に、平成19年3月に開設されました。

新庄・最上地域の公立及び個人病院等の多くの医師と新庄最上薬剤師会のご協力により、365日住民の方々への診療を行い、地域の一次救急医療体制の一翼を担っています。

⑩ 新庄明和病院

住所/新庄市大字福田806
電話/0233-22-2047



- 診療科/精・神・内
- 病床数/精神180
- 常勤医師数/2名

施設からのPR

当院は、最上地区において精神科病床を有する唯一の医療機関であり、精神科医療圏域基幹病院、応急入院指定病院、災害拠点精神科病院、認知症疾患医療センター、認知症初期集中支援チーム、医療観察法指定通院医療機関の役割を担っております。

入院治療をはじめ、精神科訪問看護およびデイケア、地域活動支援センター、共同生活援助事業所による地域生活移行の支援にも力を注いでいます。

また、精神疾患や認知症で身体合併症(主に慢性腎不全・人工透析)を有する患者様の医療にも精神科医が主体性をもって関与するという理念の下、MPU(Medical Psychiatry Unit:心身統合病棟)を整備し、積極的に精神科身体合併症医療に取り組んでおります。

尚、同法人の介護老人保健施設エーデルワイスにおいては、介護保険サービスの提供を行っております。今後も職員一同、患者様が安心して医療を受けられる環境を提供できるように尽力して参ります。

- E-mail/meiwa-soumu@io.ocn.ne.jp